

今月のテーマ

Evening Seminar

ここまでできる在宅医療！シリーズ①

悠翔会在宅クリニック川崎院長宮原光興先生ご講演

12月7日、汐田総合病院会議室にて、「在宅医療はここまでできる」をテーマとし、宮原光興先生にご講演いただきました。会場いっぱいの80人が参加しました。

講演では、超高齢社会に起因する、医療費、認知症患者の増加等の問題に対応として、在宅医療の必要性と目標についての総論的なお話から、在宅医療においてはEBMとNBMのバランスが大切であり、地域の多職種ネットワークが重要であることや、病院とのギャップ緩和のため、研修医の受入れ等、病院勤務医に在宅医療を知ってもらう取り組みなどをご紹介いただきました。また、「ここまでできる」一例として、経口摂取支援を目的とした嚥下内視鏡（VE）を用いた検査と、胃ろう交換後の確認への応用など、在宅医療の可能性をご教示いただきました。講演後、フロアーの質問に、宮原先生を在宅へ駆り立てた動機や、クリニックと訪看等の施設との顔の見える関係性と対話による双方向コミュニケーションが有用であると、お答えいただきました。参加者の感想には、次の開催を望むものが多くあり、関心が高さが伺えました。



④ 挨拶する  
医師会佐藤先生



グループワークで情報交換



⑤ 渡辺矢向町会  
長からもご発言

お隣さんは大丈夫？ 地域の見守り体制を考えよう 川のまち研修会開催

川のまちエリア会議は、矢向、鶴見市場ケアプラザエリア内の医療・介護事業所の連携会議として2014年より活動しています。2016年12月10日、しょうじゅの里鶴見にて標題の研修会を開催しました。医療介護関係者だけでなく、社協、区役所、民生委員、自治会、消防、警察、水道局、宅配業者等78人が参加しました。自治会長より平安町の「地域見守り事業」の紹介や、警察、消防から実際の困りごとなどを話された後、鶴見メディカル訪問看護ステーションより事例を提出してもらい、グループワークで情報交換、意見交換を行いました。民生委員さんのご苦労がよくわかり、新たな見守り体制の発見や、地域での今後の連携が期待できる有意義な研修となりました。



セミナーなどのお知らせ

1月16日 18:30- 認知症茶話会  
認知症サポーター養成とフォローアップ研修について  
会場：神奈川民医連会議室

1月19日 17:30- ここまでできる在宅医療②  
講師 うしおだ在宅クリニック塩田純一所長 佃洋子師長  
会場：汐田総合病院



メモリーカフェ



認知症にまつわる悩み、専門スタッフに相談できます♡

・ 汐田総合病院 会場：ラウンジびゅあ（病院2階）

1月12日（木） 2月9日（木） 14:00-16:00

・ うしおだ診療所 会場：友の会汐田・向井町支部事務所

1月12日（木） 2月9日（木） 14:00-16:00

スタッフのひとこと



看護師になって30年余り、再び、在宅の看護のやりがいや、楽しさを感じています。病院入院中に“看取り”と話された患者さんが、自宅に帰って、ご飯を食べ、表情明るく、元気になったケースなどを目の当たりにして、「住み慣れた自宅で人生の最後を過ごせる」ことの大切さを改めて実感。そんな援助ができる訪問看護はとてもやりがいがあります。N.K



うしおだ総合ケアセンター

We aim to build a non-discriminatory  
Community Care System that support all.